

タイトル	海外からの来訪者等に多様なサービスを提供するための意思・情報伝達サポートの実現
内容	本PJでは、主に海外からの来訪者が、初めて訪れる場所・店舗等で、言葉の違い等によるストレスを感じずに各種のサービスを利用し、快適に滞在できるようにすることを目的として、スマートフォン等の情報機器上で動作するアプリケーション等で音声翻訳システムや歩行者誘導案内システム等を実用化し、オリンピック・パラリンピック大会及びその周辺地域における活用を推進していく。 具体的には、来訪者が、オリンピック・パラリンピック関連施設・主要駅・各種交通機関・観光地等での誘導案内や、店舗・病院等の母国語での利用、災害時における適切な医療機関の紹介をはじめとする情報提供等のサービスが、東京都等が整備を促進するWi-Fiの接続環境等の通信インフラを通じて、支障なく受けられるようになることを目指す。 そのために、多言語音声翻訳システムの研究開発、公共空間の三次元データや案内標識情報等のデータベースの整備、顧客の購入品・移動履歴等からサービス向上に資するデータを地域で共有できるプラットフォームの整備等を東京都等との協力により進める。その後、実証実験によるサービス提供の問題点を確認し、2020年に大会及びその周辺地域で広く活用できるようにしていく。

■プロジェクトイメージ

